

羊ヶ丘養護園安全委員会だより

羊ヶ丘養護園 VOL. 32
平成30年11月19日
発行 者 堀岡

第42回安全委員会が11月16日に開催されました！

今回の定例会議では、平成30年8月8日から平成30年10月22日まで起きた19件のケースを報告しました。報告件数が多かった要因として、この期間に夏休みであり、子どもたちの多くが園に居る時間が長く、交流する機会が多かったこと、2学期になり学校行事も多く集団活動が下手で生活が落ち着かなかったことから報告件数が多かったと考えられています。会議の中では、委員の先生方に自分の気持ちを面と向かって話せなくても手紙という手段で相手に伝えた児童の事例を報告したところ、「相手に自分の気持ちを伝えられる色々なツールを身に付けることが大事ですわ」と助言を頂きました。また、今回報告した中で暴力件数が多かった3名の児童に委員の先生たちより「言葉で相手に気持ちを伝えよう」、「暴力を振るわないよう頑張っているって欲しい」とのメッセージを頂いたので、3名の児童に会議終了後に伝えられています。



安全委員会全国大会に参加して

10月30日～10月31日に全国児童福祉安全委員会連絡協議会第10回大会（山形大会）が開催され、当園より大畑園長、職員松本、一戸、小野が参加してきました。全国大会では、乳児院さんで暴力ではない児童ケアにおける不適切な関わりをチェックしていく為に「ヒヤリハット」を取り入れていたり、里親さんに安全委員会方式を導入しようとする動きがあると報告がありました。当園でもこの「ヒヤリハット」を幼児担当職員向けにアレンジし、新たに取り組みを始めたところです。

安全委員会ってすばらしいなあ～
そこには立場、職場、期間の垣根を越えた繋がりがあり、分かり合える仲間がいる・・・

全国大会に参加するたびに私はこの様な感動と、時を重ねる毎に深まる安全委員会方式の意味や役割を実感している。「安全委員会は育ったかかって皆を護るよ」これは今や施設内の取り組みに留まらず、全国の施設の横の繋がりをもち巻き込んでの大きな波になろうとしている。この大きな波にただ飲み込まれてしまわぬ様に、続けることを怠らずに愚直に安心安全を守っていく姿勢を貴きたい。大会を終えて私は今、その様に感じています。この度は貴重な学びの機会を頂き有り難うございました。 松本

全国大会に参加して、全国の導入施設がどのようなに安全委員会方式を活用し日々のケアに反映させているのかを学ぶ機会となったと共に、各施設が抱えている課題やプログラムの評価について情報交換することが出来、とても良い機会になりました。小規模に伴い、開脚師が環境の中日々ケアに当たる事で、ベテラン職員から「見て学ぶ機会」が減少しているように感じました。安全委員会方式を正しく実践で活かしていく為に、基本的な知識を得る研修やロールプレイをする機会を意図的に設け、職員一人ひとりのスキルアップを目指し、今後も施設をあげ取り組んでいきたいです。大会当日はラフ・プログラムの解禁日だった為、美味しくいただきました。 一戸

今回全国大会に参加して、全国の施設が抱えている悩み、新たな安全委員会方式の展開について知ることが出来、とても勉強になりました。また、全国の施設から当園の取り組みと、この安全委員会だよりについて高い評価を受け、改めて自分たちの取り組みと来たこととに對する自信を得ると共に今後も頑張ろうという意欲が高まりました。今大会で得た知識や経験を基に今後も子どもたちと一緒に安心して安全な生活を作りながら、田嶋先生から頂いたフレーズである「暴力をしない、させない、羊ヶ丘」となるように頑張っていきたいです。また、私は仙台・山形に初めて行きましたが、歴史的建物やそこに秘められた年月の重みを感じることができ、大変貴重な機会となりました。 小野

安全委員会記念集会を今年は12月5日(水)を開催します。今年で安全委員会が羊ヶ丘養護園で導入して8周年目を迎えました。田嶋先生より頂いた「暴力をするな・させるな羊ヶ丘」をテーマにみんなが暴力を無くして安心・安全を守っていくようにまた一年頑張っていきたいと思います！！



安全委員会に参加させて頂きありがとうございました。何度も安全委員会対応することで、加害児童も被害児童にも寄り添うことができ、両者の気持ちを理解することができるとも感じます。安全委員会ですべて共に同じ目標を目指し、ともに成長できるこの機会にとっても感謝しています。今後も児童の安心で安全な生活に繋げていけるように日々努力していきます。 保育士 堀岡颯虎

安全委員会定例会議に参加させて頂きありがとうございました。安全委員会対応に参加する事や、記録の作成をする事が多く、その作成した記録を読んだ他の職員の方々や委員の先生方がどんなことを感じるのか、という事を直接知ることができました。今以上に子ども一人ひとりに丁寧に関わり、気持ちを満たしてあげられる職員になる事を目標に、今後も学びを深めていきます。 児童指導員 根田芽依